

扶桑宝飾の真珠への思い

ジュエリーの中でも唯一日本だけが産出できる「真珠」、そして宝飾業界にとってダイヤモンドと共に、大事な大事な財産の「真珠」

この業界に携わる者は、お客様にその魅力をもっともっと正確に伝えていけなければいけないと考えています。

1) 美しい真珠は美しいという単純な真実

「花珠鑑別」って何？

もともとは、綺麗な真珠だという事が誰にでもわかるようにと民間の「真珠科学研究所」が考え出した「花珠真珠鑑別」でしたが、「花珠真珠鑑別書」が付いていれば「よい真珠」と言うような安易な販売方法に利用されてしまい、その「花珠真珠鑑別書」が乱造され、真珠の評価が乱れてしまいました。

その上「花珠」の評価の範囲が広すぎて、「綺麗な花球」「そこそこ綺麗な花球」と言うような落差があるようになっています。

「花珠鑑別」は巻き傷があればとれないけれど、テリが少なくてもその評価は出るのでテリの強い真珠にその上の「オーロラ花珠」という称号を与えました。

それでも「真珠の持つ力(目で見なければわからない)」のない珠がその評価を得るので、その上にまた「天女」の称号を付ける。

はたしてプロであれば、目で見ても判断出来なければいけない真珠の評価を「鑑別書」と言う紙切れに頼ってでしか説明できない者が、真珠の販売に携わる資格があるのでしょうか？。

扶桑宝飾の愛する真珠は、どんな称号を付けられようと『美しい真珠は美しい』と言う単純な真実をお話していきたいと考えています。

その為にも「(社)日本真珠振興会」の協力を得、シニアアドバイザーとして「真珠講座」を開催し「真珠の持つ価値と魅力」を広くお伝えしていきたいと思っています。

2) 真珠には個性がある

形が「真円」でなく、ある程度「流れ」ていても、ネックレスにして十分美しいと思います。

また変形(バロック)の方がペンダントなどのアクセサリにすれば、その形が個性になって面白いし、むしろ変形の方がオシャレにも感じられます。

人間にも人それぞれの個性があるように、生き物である真珠貝の作りだす真珠にもそれぞれ個性があります。

その個性を引き出すデザイン、演出をするのがジュエラーとしての扶桑宝飾の役目だと考えています。

3) お洒落の必須アイテムとしての真珠

パールはフォーマルなだけでしょうか？、もちろんフォーマルな席でパールに勝るジュエリーはありませんが、それをカジュアルに着けこなせればお洒落の最上級でしょう。

ココシャネルはパールの大珠のロングネックレスをデニムのパンツ、コットンのシャツにざっくりと着けました、これこそが着こなしの達人です。

扶桑宝飾は他のジュエリーと同じように、パールを日常の中で楽しんで着けて頂きたいと考えています。

その為に真珠の好きなジュエラーの仲間と共に、新しいデザインに取り組んで行こうと考えています。

南洋真珠、アコヤ真珠、淡水真珠、等、いろいろな真珠貝達が生み出す真珠はそれぞれの個性があり、その魅力は限りがありません。

その個性、魅力に合ったデザイン、着けこなしをご提案出来る加古川のジュエラーとしてもっともっと成長していく考えです。